

西九州させほ広域都市圏 在宅医療・介護連携推進事業



市民啓発公開講座

『「注文をまちがえる料理店」の
これまでとこれから』

アンケート結果

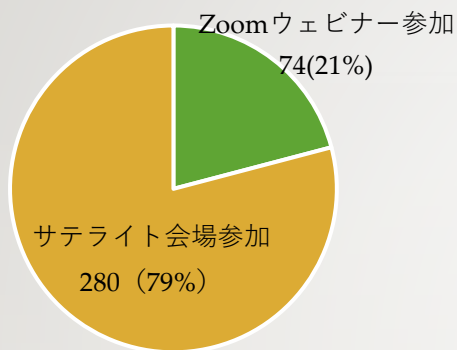
令和5年9月16日（土）14：00～15：30開催

作成：NTTデータ経営研究所

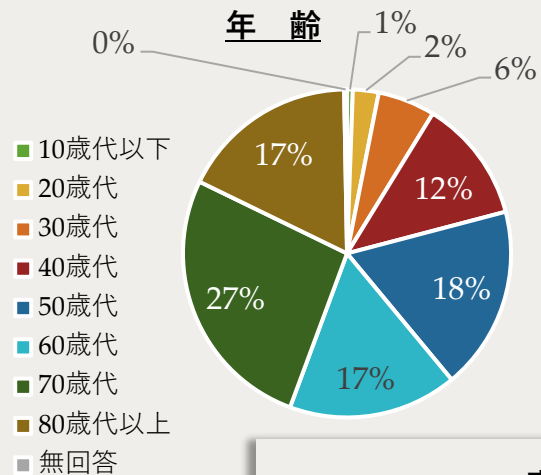
回答者概要

回答者 354人
参加者 (推定) 431人

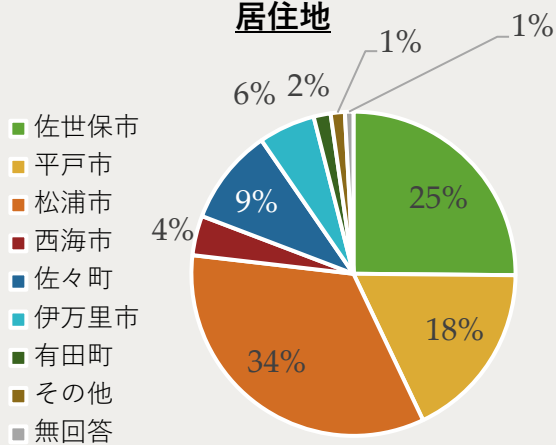
参加方法



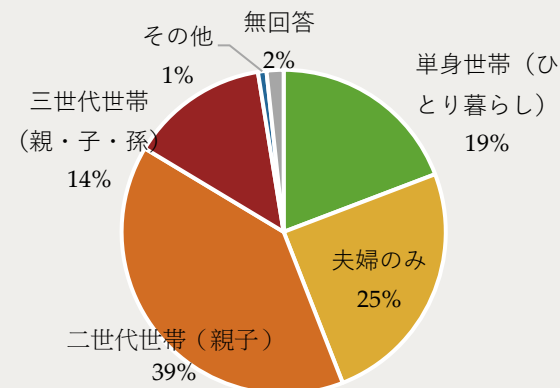
年齢



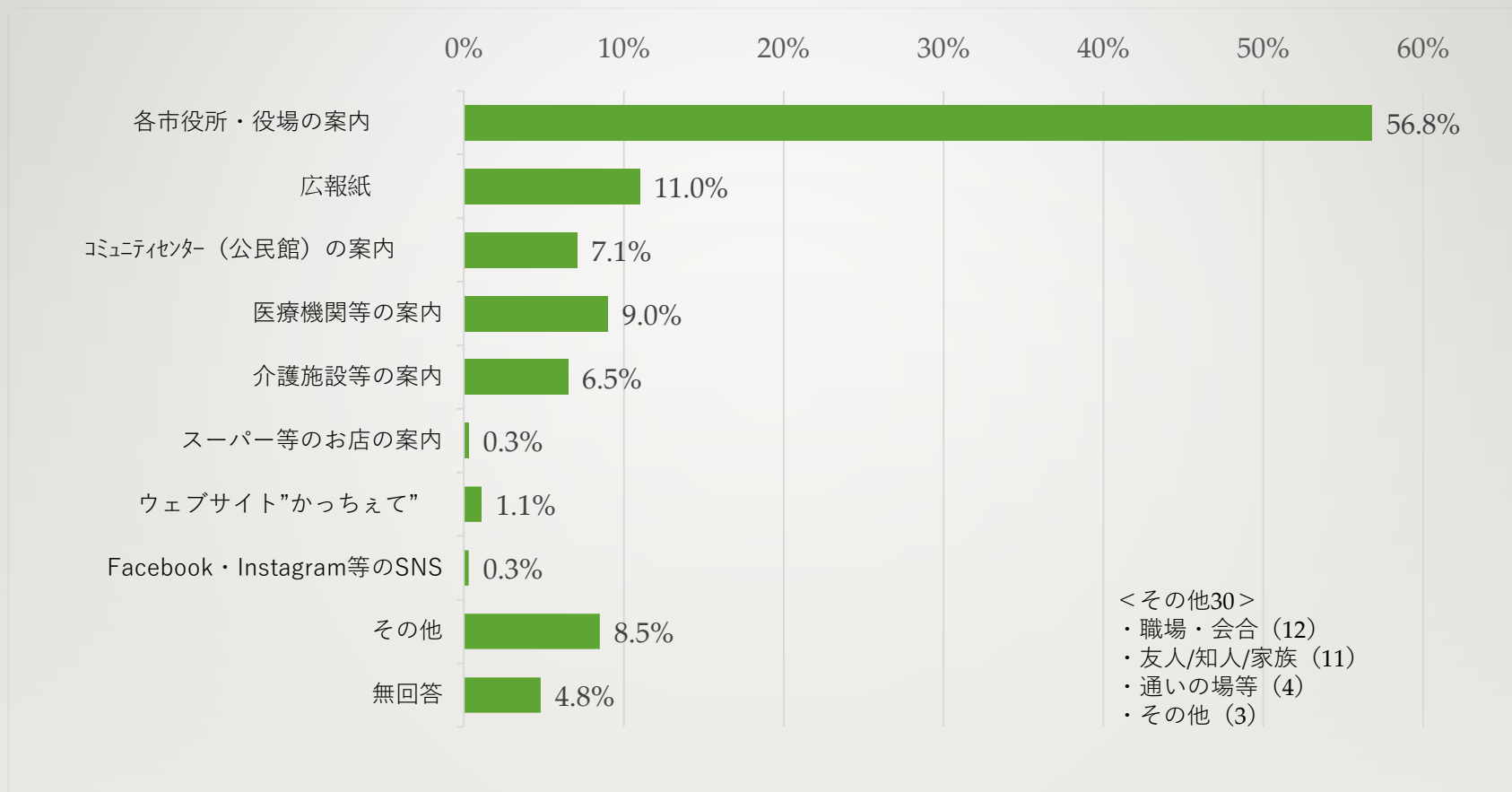
居住地



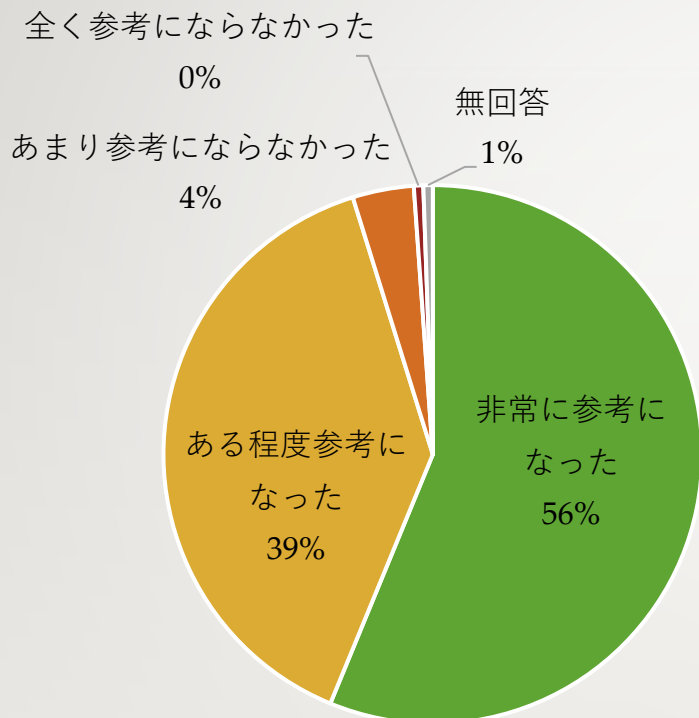
家族構成



講座を知ったきっかけ



講演会について



【理由】

●受容の大切さ

- 人それぞれいろんな考え方を持ってて、決めつけてはいけない、受け入れることが大事。
- 間違いを受け入れる姿勢を持つことで いろいろなことが変わってくるんだということを 改めて考えさせられました。
- 「間違いも全員が認めれば間違いではなくなる」、許しあえる社会の実現のために大事なヒントをもらった。
- 人のことを受け入れて接していくことの大切さを知りました。
- まちがえてもまあいいや、社会課題は社会受容の問題だと思う。

●認知症である前に「人」

- 認知症である前に人である、ということに改めて気付かされました。
- 認知症の〇〇さんではなく、〇〇さんが認知症というお話が心に残っています。
- 「認知症という病気の人」という見方をしていた自分に気づきました。あくまでも一人の人というとらえ方、接し方が出来る自分として過ごしたい。
- 介護をする側される側という概念ではなくお互いが何が出来るかを考えることがとても大切と感じました。
- 認知症になっても、人間として関わっていくことの大切さを感じました。

●「わかった」つもりにならない

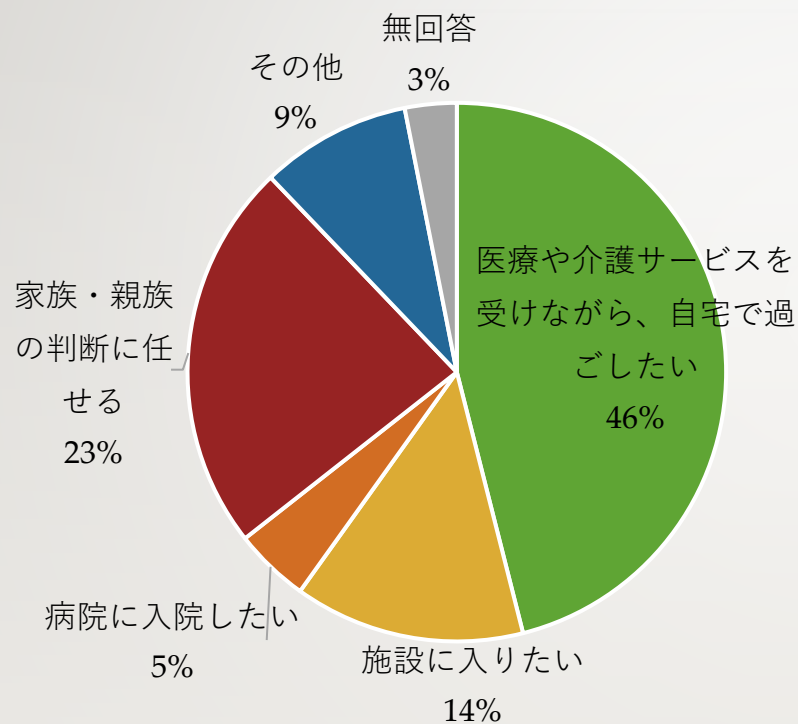
●視点を変えることの大切さ

●大切なことは届かない、伝わらなければ存在しない

など

人生最期を迎えるとき、心安らかに過ごせる場所

【理由】



<その他32>

- ・まだわからない/その時にならないとわからない (9)
- ・どこでもいい/大自然の中 等

①医療や介護サービスを受けながら、自宅で過ごしたい

出来る限り家族との時間をもちたい。/最後まで自立して生きたいと思うから。/家が一番落ち着くだろうと思いました。/安心できる。/住慣れた地域で自分らしく過ごしたい。/子や孫と共に過ごしたい。/自分が生まれ育った場所で生涯を閉じたい。/住み慣れた家で家族と過ごしたい。/他

②施設に入りたい

一人身なので。/便利そうだと思う。/安心して過ごせる環境が一番大切かと思います。/家族に負担をかけたくない。/介護職として、最後は施設で最終を迎えたい。/父を介護した経験から大変さがわかり、その影響で家族が疲弊した事があるので、介護は専門職の方にまかせて、家族の負担を減らしたい。/迷惑かけてもいいから。/他

③病院に入院したい

病院が一番安心して過ごせると感じるから。/家族に迷惑をかけたくない。/子供が遠方に居るので、その方が私も子供も安心できるのではないかと思います。/一人なので。/他

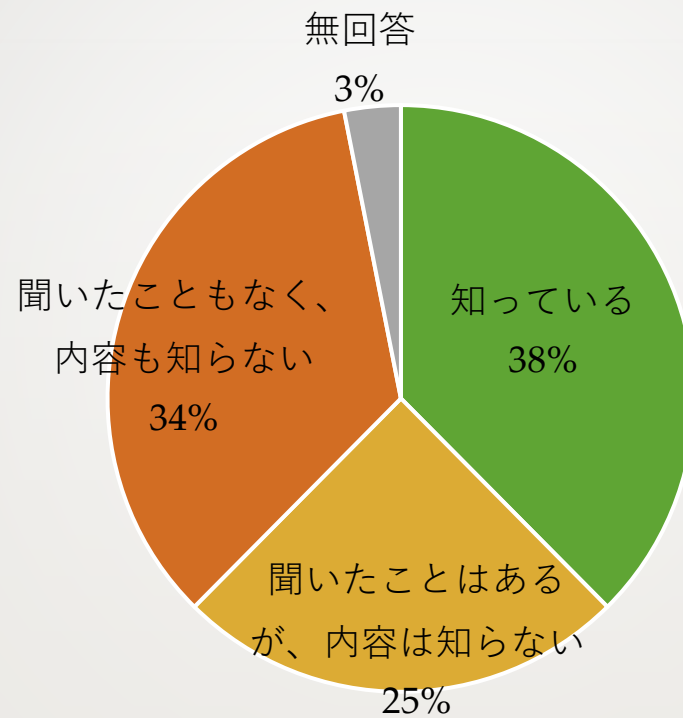
④家族・親族の判断に任せる

回りに迷惑かけずに終わりたい。/自分の介護をしてくれる人の負担にならないようにしたい。/家族に迷惑をかけたくないから。/最期の自分の体の状態により家族の判断に任せる。/主人を自宅で最後まで看取ることができて、自分でもできるんだという思いです。/他

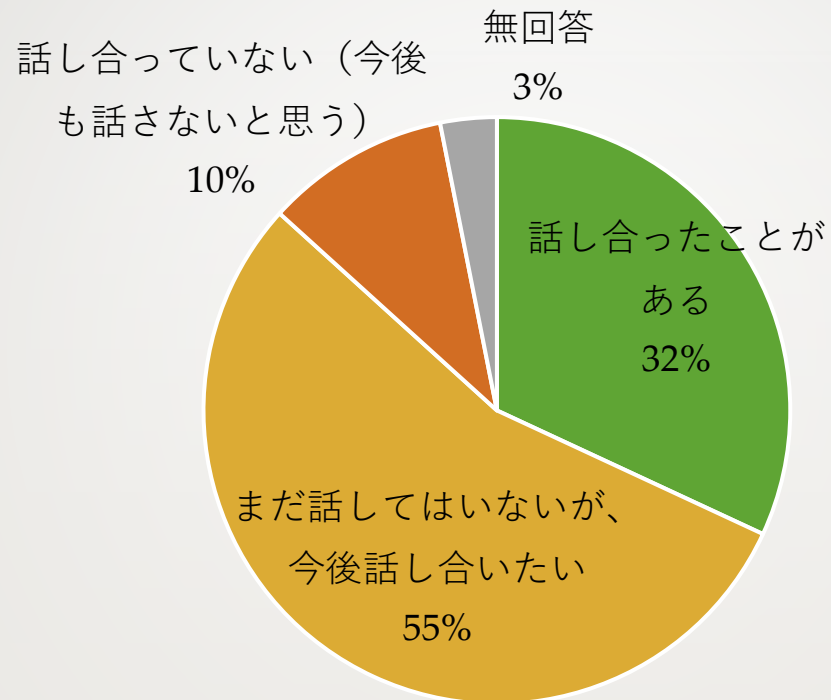
⑤その他

まだ考えられません。/まだわからない。/一方的な家族の判断に任せてしまうと、家族が後で後悔すると思います。/他

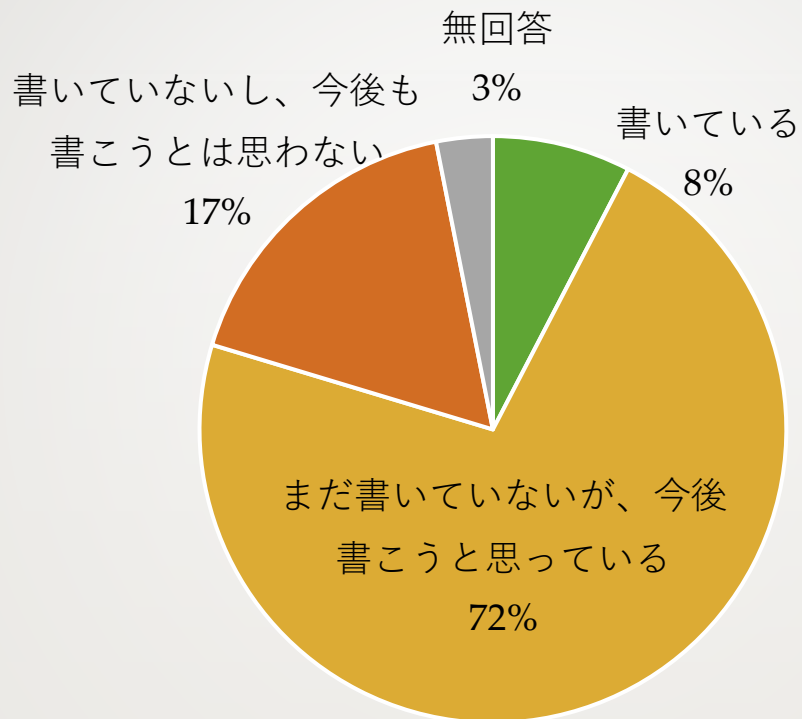
ACPについて知っていますか？



最期の時間の過ごし方について家族と話し合ったことがありますか？



エンディングノートを書いていますか？



在宅医療や在宅介護、オンライン講演会等についてのご意見ご要望 (記入者101名)

●要望

- ・市内でも先進的な取り組みをされている施設があればご紹介いただきたいと思います。
- ・デイサービスやデイケアの施設がどんな所があるか知りたい。それぞれどんな内容なのか。
- ・在宅医療や在宅介護の実例等があれば、わかりやすいと思います。(病気等で様々で一人ひとりサービスや必要なものも違うとは、と思いますが...)
- ・実際の在宅医療や在宅介護の状況、最期の看取り、その人らしさを支援するという事、などについて話を聞いてみたいと思いました。
- ・プライバシーの問題もあり難しいとは思いますが、在宅医療・介護の実例を挙げて、それぞれのケースにどのように関わられたか知りたいです。
- ・高齢の親の世話や介護について、どんなことができ、どんな準備や対応が必要またどんな支援があるのかを知りたい。
- ・作られたものではなく 現状の厳しさ 課題 等を共有し 一人で悩み 苦しむ事のない 解決策を (介護者 被介護者共) 教えて欲しい。
- ・政府がこれからやろうとしている介護保険の改悪について講演してほしい。
- ・自分が年齢を重ねれば、もちろん親も年を重ねているわけで、働きながら在宅医療を行うに当たって、家族の心構えや、双方にとって幸せな日常を送れるための情報、認知症等について知りたい。
- ・これからの一人暮らしについて、どう過ごしたらよいかについて知りたい。
- ・認知症の家族の方の講演をお願いします。子供もいなく先々心配です。

- ・認知症になっていく段階をもっと知りたい。
- ・初めて参加しましたが、もう少し研究したい。
- ・成人病について...健康で過ごす為には。
- ・お一人様の終活。
- ・終わった後で、せっかく集まった人たちで対話をしてみてはいかがでしょうか？
- ・NHKのドキュメンタリー時々見ます。いつも感動します。小国士朗さんに直接会ってみたい。
- ・公開講座の開催をメールでお知らせしていただきたいです
- ・市民向けの啓発という事で広くわかりやすい内容がいいと思います。
- ・どんな内容でも、構いません。できるだけ、聴きたいと思います。

●意見

- ・エンディングノートを重視するのではいけません。ACPはもっとフレキシブルなものです。むしろどうしていきたいのかに気づくのをいっしょに手伝わせていただくことで、自分も自分について考えることがACPでは大事であり、いつでも変更できて、その度に話あうことが大切です。だからアドバンスなのです。
- ・認知症の方との接し方を勉強したい。自分が認知症だと思ってないから、物が無くなった、盗られた。と言う被害妄想がひどく、特定の人物を犯人と決めつける。その際相談を受けるが、相手の話に合わせているが。それでいいのか？
- ・認知症の人を理解せよということですか？自分が認知症にならないようにするか？意味不明でした。

在宅医療や在宅介護、オンライン講演会等についてのご意見ご要望

●意見

- 在宅での医療を望んでも在宅医、看護師、訪問介護等 対応出来ない状況が多い。
- 人それぞれの考えがあるので、同じようにはできないと思っています。
- 在宅医療・介護、まだまだ難しい課題
- 在宅医療や在宅介護の人手不足が問題となっている現状。この先、明るい未来はあるのか、来るのか？
- 今日のテーマの講演を聞いた後のアンケートで、人生会議や終末期の過ごし方について質問をされる内容が違和感を感じました。認知症の人への接し方や、共生社会に関することをお尋ねする方が、今回のテーマに合っているように思いました。
- はじめの自己紹介が長くていやでした。早く本題に入ってほしいと思いました。
- オンライン講演にて、昔アナウンサーの仕事をしていた方にしては、「あの一」という言葉がやたら多すぎて聞きづらかった。
- 言葉の中でのおじいちゃん、おばあちゃんは、やめていただきたいです。
- 一般の方への講演会としては、内容が難しかった。講師が早口で、聞き取りにくかった。スライドや映像をもう少し入れてほしかった。
- 講師の方が早口のためよく聞き取れないことがあった。健常な人ばかりではないので、もう少しゆっくり話していただけるとありがたいと思いました。
- 画面がぼやけていて音量調整が良くなかった（音が大き過ぎた）。
- 会場の湿度が高く暑かった。
- 音声をクリアに出来ませんか。
- スクリーン写真等が見えにくかった。残念。

●オンライン講座について

- 初めてオンラインの話を聞きました。
- オンライン講演会は助かりました。
- 確かに老いても1人の人として生活できることは素晴らしいです。オンラインで拝聴させていただきありがとうございました。
- オンラインでの研修のおかげで今回もとてもいいお話を聞くことが出来ました。西海市は、移動に時間がかかるのでオンラインでの研修の機会があれば嬉しいです。
- 対面での講演会が一番いいのかもしれないが、その会場まで行くことが難しい人もいる。会場での参加と、オンライン参加とが選べる体制があるのは、とてもいいことだと思います。会場（1箇所）になってしまうと、佐世保市以外の市町村からの参加は難しくなると思うので。
- 感染症対策としてではなく今後もオンラインで受講できるスタイルはサテライトと併せて継続して欲しいです。
- 講演者の人選、講演の内容、オンラインを含めた方法ともに適当だったと思いました。
- オンラインも今から必要になり、その方が良い事もあります。
- 会場に行く時間など考慮し、オンライン講演だから今回視聴しました。今後もオンライン講演を行なって欲しいです。
- 講演会はいつでも後からオンデマンドで見れたら良いと思う。
- 1時間以上続くオンライン講演会等は、途中休憩がほしい。
- オンラインでは、小国先生のお顔が、もう少しはっきり見えてた方が良いと思いました。
- オンライン講演も良いのですが、操作が難しかったりするので併用なども良いです。時間の都合がつかず見れなかったり、参加できないこともあるので、録画配信（期間限定）などの検討もしていただければ嬉しいです。

在宅医療や在宅介護、オンライン講演会等についてのご意見ご要望

●オンライン講座について

◆オンラインの良かった点：普段、夜や休日に出かけてどんな事をしているか、学んでいるか子どもたちに少し想像してもらえらるきっかけになった。/子どもたちも一緒に聞いて、子どもたちの視野も広がった。/移動時間、会場での待ち時間が短縮できた。/講師もリモートなので交通費や宿泊代等経費削減できたのでは。/・重要ではない話中(書籍や映像で既知のパート)に資料作成や家事、子どもの相手等の他の事ができた

◆要望点：普段、講義系の動画等は毎日のように何本も見ているが、話しメインのものは大抵1.5倍~2倍速で見る事が多い。オンラインで質問ができないのであれば録画配信でいい。/コメントを寄せておいて、それを拾ってもらう時間を確保する形でも良かった。

- ・自分が病院に勤めていたころと比べると、人間的でない。画面対応や機械化で寂しい。目と目を合わせての会話を！オンライン授業も嫌だと思う。
- ・オンライン講習では伝わりづらい。講座で映像 代わり映え無く退屈な講座だと思った。

●その他

- ・もっと、医療職に就こうとしている人とかに聞いてほしい内容だと思いました。
- ・今回の講座を含め、在宅医療や在宅介護の関する講座を職員のみならずご利用者様やご家族にぜひお見せできれば、救われる方もいるのではないかな、と感じました。各地域でサロン活動が行われているため、そのような場所の活用等もできるのではないかと思います。
- ・在宅医療や在宅介護など専門職以外の人を知る機会があるといいと思います。もし家族や自分が同じ立場になった時に参考になると思います。

- ・サテライト会場の参加者が少ないので、もう少し地域の方たちに聞いてもらいたいと思います。
- ・参加するととてもいい内容の講座なのですが、なかなか参加者が少ないのがもったいないです。知らない人がたくさんいるのだろうなと思います。
- ・一般の人たちの参加が少なかったと思います。関係者が多かった。もっと、誰でも参加できるように広報お願いします。

- ・今回のような講演会をもっと開催いただけると嬉しいです。
- ・いい機会があれば、また参加したい。
- ・また、参加させて頂きたいです。ありがとうございました。
- ・今後も本日のような機会をお願い致します。
- ・今後も是非、このような講座を開催していただきたく思います。

●感想等

- ・間違ってもいいじゃん、間違っただけどまたいいかという考え方素敵だと思います。テヘペロですね。間違いを受け入れれば、間違いじゃなくなる。そんな社会になればいいと思います。皆さんがいきいきといい笑顔をされていて感激しました。誰でも誰かの役に立ちたいし認められたいです。認知症である前に人なんだよな...。心に刺さりました。
- ・民生委員として、地域のサロンのボランティアをしています。参加者の中には、認知症の方もいます。今回の講演で、間違いを指摘するのではなく、その場にいる人が受け入れれば間違いではなくなるという、寛容さが参考になりました。認知症に関することは今後も参考にになります。

在宅医療や在宅介護、オンライン講演会等についてのご意見ご要望

●感想等

- 「社会課題は、社会需要の問題」まったくその通り。私も義母を在宅介護で、認知症の介護を7年経験しましたが、受け入れることが大切で、ともに遊び、ともに働くことが大切。今は、認知症の義母から育てていただいたと感謝しています。納棺の時、可愛くてたまらなかったことを思い出しました。（受け入れるまで数年かかりました。）
- 社会が受容することで、間違えても大切なことであり、人なんだと思う。
- 老いは年輪として受け入れ、過去にこだわらず、現状を受け入れ、仲間を作り、楽に生活することを進めたい。
- 「まあ、いいか」という言葉も優しいですよ。改めて、気付かせてもらいました。学ぶこと、たくさんありました。ありがとうございました。
- 今回、職場（通所サービス）の利用者にも講話を聴いていただきました。利用者にはやや難しい内容でしたが、いつまでも自分らしく、生きていくためには、出来る事を継続する。努力する姿が美しい。まっ、いいかの考え方がいいね。等みんなだまどめてみました。良い機会になりましたありがとうございました。
- BESUPPORTの取り組みでの皆さんのキラキラした笑顔が印象的でした。人は何歳になっても好きなことがあれば、何かをしたという原動力になる事がわかり、このような素敵な取り組みを紹介してもらってありがとうございました
- 今日の映像を見て、「こんなに元気でいられることができれば、認知症にもなって大丈夫かも？」と感じる。そんな場所が設立されれば素晴らしいと思う。居場所があることの安心、思いやりが育つと思う。人らしく、自分らしく生きる場所が必要である。認知症が輝ける社会になるように。
- たまたま、佐世保市のホームページを見ていて講演会のことを知りました。認知症の人と家族の会に関わっている人に早速お知らせをいたしました。「認知症である前に、人なんだよな」と気づくことが大事なんだと思います「認知症であっても、その人らしく生活できる」ことを自分のこととして考えていきたいと思います。
- ”認知症である前に人”が心に響きました。
- 誰にでも分け隔てなく、楽しくコミュニケーションを取れたり、在宅医療や在宅介護が当たり前になればいいと思います。
- ちょっとの支えがあれば、家で過ごせるのではないかと思った。
- プロジェクトを成功させる鍵は、仲間集めの大切さ。自分に出来ないことが出来る人を集める。目指してみようと思いました。ありがとうございます。
- 興味深く納得のいく内容でした。自分自身もはっとする言葉が多く考えさせられました。
- テレビで見たので関心はあった。とても勉強になった。
- 介護施設等の方々が、家族以上に献身的にお世話をなさっていることに頭が下がる思いです。スタッフの方々の十分な待遇を願っています。
- ピンピンコロリで100歳が目標
- 人の生き方、支え方について、大変意義ある講演が聴講出来感謝につきます。ありがとうございました。
- 在宅での介護では、歩く事が出来なれば自宅は無理ですと良く聞きます。自宅での介護と仕事の両立は難しいものだと思いますし。そういう方への工夫などあればと思います。
- 在宅介護の経験あり。も少し早くこのお話を聞きたかったなあ。

在宅医療や在宅介護、オンライン講演会等についてのご意見ご要望

●感想等

- 医療・介護の専門職ではないが、だからこそその気づきや視点で展開され勉強になった。
- どんなテーマでも信念に基づいた説得力がある内容は、心が揺さぶられます。
- 市内どころか関東からの参加でしたが、とても良い講演が聞けました。良い企画をしていただき、誠にありがとうございました。
- 日常なこと、参考にさせてもらえることだと嬉しいです！今日は有難うございました。
- 勉強になりました。ありがとうございました。
- 私の父と母はすでに他界しているのですが、遠方に住む高齢の義理の父がこれからさき在宅介護を望むようになると思うので、良い関わり方は何かを考えているところです。人として生きていることを感じながら最期を迎えてもらいたいと思っているので、今回の講演はとても良い学びの機会となりました。ありがとうございました。
- 介護の仕事をしています。自宅にも90歳近い義母もいます。これからの生活に活かしていきたいと思えるお話でした。ありがとうございました。
- とても素晴らしい講演をありがとうございました。
- いろいろなテーマでの講演ありがとうございます。